

# 水戸藩開藩四百年記念『桜田門外ノ変』映画化支援の会

## 専門家と郷土の食文化に親しもう

### ～ロケ部隊に食べさせたい

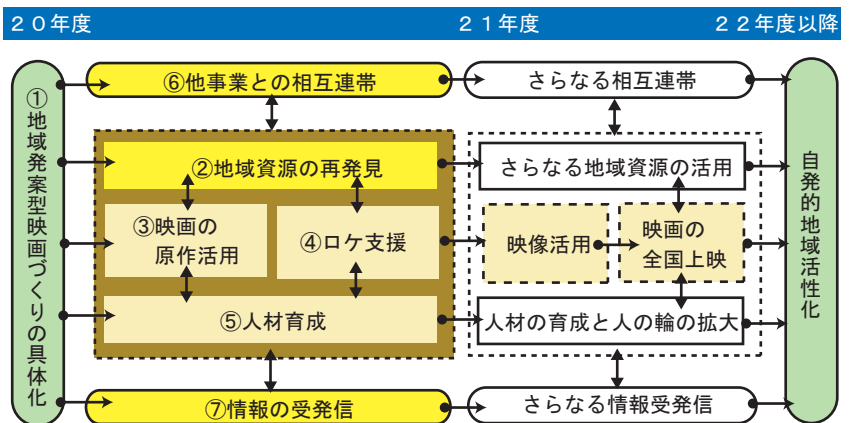
### 美味しい郷土料理～（全4回）

徳川御三家の一つである水戸藩は、慶長14年（1609年）に、東照公家康の十一男の頼房公が常陸水戸二十五万石に封じられて始まりました。来年、平成21年（2009年）は、ちょうどその四百年目にあたります。旧水戸藩領の茨城の県北地方はじめ県内各地には、『日本の原風景』ともいえる農山村の暮らしが、しっかりと息づいています。その豊かな風土の下で、蒟蒻や納豆のほかに、その土地ならではの郷土料理が受け継がれています。かつて桜田烈士や、彼らを支援した家族や多くの村人たちが食した料理を、専門家の指導で実際に調理し、茨城ならではの海・山・里の豊かな食を味わいます。

映画『桜田門外ノ変』のロケ現場では、出演者や製作スタッフの皆さんに郷土の食を紹介して茨城の食の豊かさを共に実感してみませんか。

### 『桜田門外ノ変』映画化支援の会の活動概要

江戸の末期、水戸藩による幕政改革をめざした学問・教育思想は、押し寄せる列強の脅威に対して、諸藩を「尊王攘夷」の旗印の下に糾合させるバックボーンとなりました。さらに、幕権回復のために断行された安政の大獄に起因する水戸藩浪士らによる「桜田門外ノ変」は、幕末日本に大きな転機をもたらし、雄藩や尊攘志士の列強との交戦、続く明治維新への先駆となりました。私たちは、水戸藩が最も熱く燃えた日々を郷土の美しい風景とともに映し出す『桜田門外ノ変』の映画化をめざします。どうぞ皆さん、この映画づくりと、それを起爆剤とした多彩なまちづくり活動（講演会や史跡めぐり、交流事業ほか）に、是非ご参加下さい。茨城はもとより日本全国に向けて、混迷する現代を見ずえ新たな時代を切り拓く「気運」を醸成していきましょう。



### 参加申込書（希望される講習会の口にチェック（）を入れて下さい）

<input type="checkbox"/> 第1回 郷土茨城の食文化を考える	<input type="checkbox"/> 第2回 幕末の食文化を考える
<input type="checkbox"/> 第3回 郷土の食文化と素材を活かしたロケ弁当	<input type="checkbox"/> 第4回 秘伝・黄門料理の再現を試みる

氏名 \_\_\_\_\_ 所属 \_\_\_\_\_

電話 \_\_\_\_\_ Fax \_\_\_\_\_

お申し込み Tel&Fax 029-303-0310